

## 会議録

会議名 平成 21 年度第 1 回八王子市文化財保護審議会

日時 平成 21 年 6 月 22 日 ( 月 ) 午後 1 : 30 ~ 午後 3 : 00

場所 八王子市役所第 6 委員会室

出席者 【委員】 相原悦夫会長・加藤哲副会長・岩橋清美委員・阿部朝衛委員・池上裕子委員・神立孝一委員・齋藤経生委員・津山正幹委員・菱山忠三郎委員・堀江承豊委員・渡辺美彦委員  
【事務局】 榎本茂保部長・渡辺徳康課長・鈴木裕子主査・新藤康夫主査・土井義夫主任・木住野直彦主任

欠席者 中村ひろ子委員

議題 審議事項 ( 1 ) 文化財指定の答申について  
報告事項 ( 1 ) 平成 21 年度文化財関係予算  
( 2 ) 八王子城跡の整備  
その他

公開・非公開の別 公開

傍聴人 0 人

配布資料 1. 第 1 回文化財保護審議会次第  
2. 審議事項・報告事項資料  
3. 八王子市郷土資料館年間予定表 2009.4 ~ 2010.3 ( 八王子市教育委員会 )  
4. ジョイマップ 絹の道 八王子と横浜を結んだ道 ( 絹の道都市間連携研究会 : 八王子市・町田市・相模原市 )

会議録 要点筆記とする。

## 開会

土井主任        本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。平成21年度第1回文化財保護審議会を開催させていただきたいと思います。今日、欠席の連絡をいただいておりますのが1名で、会議が成立していることを報告させていただきます。

                  なお、今日の署名委員は、堀江委員にお願いしたいと思います。

                  それでは、議事につきましては、会長さんの方からお願いします。

相原会長        こんにちは、平成21年度第1回文化財保護審議会を開催いたします。今日は、お手元の資料として配布してありますが、審議事項一点、文化財指定の答申について、事務局から案が示されておりますのでそれを審議して行きたいと思います。それから、報告事項二点ありまして、一点目は平成21年度文化財関係予算。これは事務局より概略の説明をしていただきたいと思います。それから、二点目は、八王子城跡の整備について。これは、現地に足を運んで八王子城跡の現状を見ていただくということになります。それから、その他ということで何か補足説明等あれば述べていただきたいと思います。

## 審議事項

### (1) 文化財指定の答申について

相原会長        では、審議事項について。これまで平成20年度第4回文化財保護審議会まで検討されてきました、八王子市教育委員会より諮問を受けていた文化財指定についての答申案を事務局より作成してもらいました。それに加え、これまでの審議を踏まえて作成された調書があります。これは、文化財指定の諮問についての答申の根拠となります。これまでの審議会の議論を集約しますと歴史資料として価値があるだろう意見にまとまりつつありますので、その視点に立ったうえで、齋藤先生からの説明を踏まえ、各委員のご議論のうえ答申をまとめたいと思います。

                  では、齋藤先生より所見を述べていただきたいと思います。

齋藤委員        それでは、私の方から説明させていただきます。お手元にあります調書については、私がまとめたものであります。合計6点。内訳として三木家に伝わる肖像画が5点と増田蔵六の肖像画あわせて6点ということになります。全般的に申し上げますと、掛け軸について、後世の書き込みが見受けられるものが一点ございました。年代の古い人物から申し上げますと、千人同心組頭三木家九代十郎左衛門幸光は、6点の中で一番古い人物であります。これについては、特に大きな問題はないと思われませんが、描かれた年代・

作者が不明であることが言えます。絵画的には、素人が描いたものとは思われません。古稀・米寿等の記念の寿像として描かれ、当家において後世に残そうというものと考えられます。袷・袴・脇差を差して後世の幸光の晩年の雰囲気を与えています。背景の色について、茶色いバックで背景を描くのはこれも寿像のひとつの特徴であります。絵画作品としての指定も考えられますが、作者は不明のためこれは難しいと思います。左側に白文の関齋と読める字が捺してありますが、捺してある場所からするとこれが落款かもしれません。関齋について、今のところ誰であるかははっきりしておりませんが、現在の日の出町出身である森田五水の師である相澤五流のものかもしれません。ただ、相澤五流は多くの落款を使用しておりますが、関齋の落款はございません。多くの落款の中には、関良岡齋のというものがあり、頭と末尾の文字を取ると関齋となりますが、これは今後の検討課題となります。

次に、千人同心組頭三木家九代十郎左衛門幸光夫人津弥の肖像画ですが、幸光の画風と比べ女性らしいものであります。老齡の姿で描かれており、肖像画として威厳を持つと同時にその先に見えるやさしさも感じられます。また、画賛についてですが、高月にある圓通寺の住職光宥が賛を書いております。光宥が老女の姿を見て、稟として従順な性格で、家事によくつとめ、すべてのひとびとに対し、平等に敬愛の懇情をもって接し、古稀を迎え阿弥陀の極楽浄土へと導かれるだろうと書いています。

次に、千人同心組頭三木家十代孫三郎茂堯肖像画についてですが、椿椿山の作とされていますが、椿椿山が描いている肖像画であるとするならば、この作品だけは異質のものであります。椿椿山の落款については、疑わしいもので、椿山とは少し違うのではないかと思います。ただ、線ひとつをとっても素晴らしいものであります。椿山は、暈しを多用していますが、それがこの作品では使われておりません。よって、落款については、「椿椿山の作であることを伝えている。」という表現に留まっております。最初は、この作品を栄攄と見ておりましたが、茂堯ではないかという意見を否定できないので、その意見に従って茂堯の肖像画といたしました。

次に千人同心組頭三木家十代孫三郎茂堯夫人屋與肖像画についてですが、37歳の若さで亡くなったという肖像画はほとんどありません。三木家にある幸光夫人に比べ若々しく、浮世絵の美人画を見るように描かれております。疑問点は、主人茂堯が描かれていないのに、先に夫人が描かれている点が挙げられます。生存中に描かれたのか、亡くなってから描かれたのかは不明です。描かれた時期を亡くなった時あるいは亡くなる直前に設定するのであれば、型に嵌めることなく死に瀕している夫人を先に描いたと解釈できます。賛にある常福は、加住の常福寺で芳賛が書いています。

芳贄さんの生没年を調べると年代の範囲がもう少し狭められると思います。

次に、千人同心組頭三木家十一代愛之助栄攄肖像画についてですが、これは、三木家十一代ということで、九・十・十一代と続く作品としては最後のものとなります。幕末から明治にかけての森田五水の作品であります。画面左下に「六十六翁 / 法眼五水寫」の落款があり、森田五水が 66 歳、すなわち安政 5 年、西暦 1858 年の時に描いた作品であります。森田五水の先生は相澤五流で、五流は、多摩の地に生まれ多摩の地を中心に活躍したといわれます。森田五水の作品は弟子のものも含め、森田五水の子孫の家に多く残っております。五水の作品は、出身地である日の出町や福生市や青梅を中心として現存しております。それが八王子に及んでいるのは意義があると思います。この作品は、高月の圓通寺の住職が贄を書いております。ちなみに、森田五水は、法眼という位を貰っています。法眼という位は、平安時代から始まっておりますが、本来、僧に与えられる位で上から法印・法眼・法橋があります。次第に仏師や絵師などに波及してくるようになり、それが江戸時代まで続きます。本来は、徳川家から貰うものですが、寛永寺が代行して位を与えておりました。功績を修めた者に対して位を与えられることから、そこそ並の絵師であることがいえるのではないのでしょうか。ただ、森田五水の絵が他で文化財に指定されている事例を聞いたことがありません。絵師として指定するのではなく、歴史資料としてなら良いのではないかと思います。

次に 天然理心流師範増田蔵六肖像画についてですが、落款に「七十四翁 / 法眼五水寫」とあり、森田五水 74 歳、すなわち慶応 2 年 (1866) の作品ではないのでしょうか。この年、増田蔵六は 81 歳にあたることから、八十の賀寿の寿像として制作されたものと考えられます。朱塗りの長机を背にして、羽織袴に小刀を差し、脇差を左側において斜め左向きに正座。机上には筆立てに差した 2 本の筆と、硯、巻物が置かれ、手前に短冊と筆がおかれ、剣術家として知られる蔵六の文人としての教養をもみることが言えるのではないのでしょうか。

以上が私からの補足説明となります。質問等あれば、会長さんの方へご提案いただければと思います。

相原会長

只今、齋藤先生の方から、これまで審議してまいりました内容にプラスして説明をしていただきました。総体的には、千人同心という八王子を代表する幕末から明治にかけての歴史資料としての価値を見出すことができる、加えて増田蔵六の肖像画については、地元の絵師が描いた剣術家の幕末の歴史資料としての価値があるという説明がありました。これまで 4 回程度の審議をしていただきましたが、質問等ありましたらお願いします。

阿部委員 調書の 5 頁、森田五水の没年が明治 3 年になっていますが、明治 7 年ではないでしょうか。

齋藤委員 そうですね。明治 7 年と訂正してください。

それから、千人同心に限らず、夫婦の肖像画を残すのは風潮としては多いと言えます。武士の時代に入ってから彫刻を含めて多く見受けられ、寺の開基として称える理由で残される場合が多いです。江戸に入ってからそれが町民の中に入ってきたことが言えることを補足させていただきます。ただ、そうは言いましても八王子の中では珍しいです。

津山委員 調書 6 頁の 3 行目の天保 8 年（1837）は、慶応 2 年（1866）が正しいのではないのでしょうか。

齋藤委員 そうですね。慶応 2 年（1866）と訂正してください。

相原会長 他にありませんか。

池上委員 はい。調書 1 頁の下から 2 行目相澤五流の没年が 1874 年になっていますが、これに基づくと 120 歳余生きたことになります。再度、お調べいただけたらと思います。

齋藤委員 没年は、1822 年に訂正してください。

相原会長 齋藤先生作成の調書で、表記について若干の訂正をさせていただきたいと思えます。総体的に質問等無ければ、諮問について、適正な評価ということで別紙のとおり答申をさせていただきたいと思えます。答申の内容としましては、一点目は千人同心組頭三木家の肖像画が 5 点、二点目は天然理心流師範増田蔵六肖像画 1 点です。指定の理由は、三木家の肖像画は、幕末の千人同心組頭の生活の様子を知る上で貴重な歴史資料である。更に、天然理心流の増田蔵六の肖像画は、八王子の剣術に関して歴史資料として貴重なものである。以上の視点から、答申を審議会として提出させていただきたいと思えますがどうでしょうか。委員の皆様、いろいろ意見がありましたら、忌憚なく言っていただけたらと思います。もしなければ、了承ということで、今回の審議会にて答申させていただくということにさせていただきます。よろしいでしょうか。

出席委員 はい。

相原会長 では、昨年 9 月から 4 回に重なって検討してまいりました、八王子市の指定文化財としての絵画 6 点をこういう形で、答申をさせていただきたいと思えます。どうもありがとうございました。

## 報告事項

### (1) 平成 21 年度文化財関係予算

相原会長     それでは続きまして、報告事項に入らせていただきます。まず、平成 21 年度文化財関係予算について事務局より説明をお願いします。

鈴木主査     この件について、鈴木から説明させていただきます。お手元の資料の平成 21 年度文化財保護関連予算の概要についてをご覧いただけたらと思います。文化財保護費は総額 221,481 千円という予算が組まれております。内、(1)文化財保護普及については、19,146 千円。この中で埋蔵文化財調査費として、国と都から補助金を 6 百万円程、歳入としては別枠で組まれております。(2)文化財保存活用推進については、8,997 千円という予算が組まれております。多くが山車の補修費で、全額が市の負担となります。(3)史跡八王子城跡保存整備については、179,908 千円という予算が組まれております。多くが、東京造形大学跡地の先行取得返済分であり、あとは国史跡八王子城跡維持管理費、と国史跡八王子城跡整備活用費が占められます。八王子城跡の整備活用は、国の補助を受けながら 5 ケ年にわたり行っていますが、平成 21 年度がその 2 年目にあたります。アとウについては、国・都の補助金が 15,300 万円ちょっととなります。(4)文化財関連施設維持管理についてですが、市史跡絹の道・絹の道資料館・市史跡中田遺跡公園の維持管理ということで、11,630 千円という予算が組まれております。平成 19 年度までは栢田遺跡公園についてもこの中に入っていた訳ですが、公園課に管理が移管されたことに伴い、予算も公園課に移っております。(5)第 7 回八王子車人形と民俗芸能の公演についてですが、平成 15 年から毎年 1 回ずつ開催しております、本年は 11 月 15 日日曜日を予定しております。今年も東京都主催の文化財ウィークに乗せて開催いたします。

相原会長     何かご質問はありますか。財政が逼迫している中、昨年度との対比はどうでしょうか。

鈴木主査     予算の減は(3)史跡八王子城跡保存整備のア国史跡八王子城跡土地取得の何千万を代表として減っております。

相原会長     他にありますか。

絹の道資料館管理の予算措置について昨年度と比べてどうでしょうか。

鈴木主査     絹の道資料館の管理につきましては、昨年度、市職員(再任用嘱託員)分の予算が付いておりましたが、今年度からシルバー人材センターへ業務委託という形で予算が組んであります。よって、シルバー人材センター規定の人件費を基に組んでありますので、その分が若干減っております。中田遺跡の方は、以前からシルバー人材センターに委託を行っております。

相原会長 特に無ければ、この項目を終わらせていただきます。

## (2) 八王子城跡の整備

相原会長 これにつきましては、現地にこれから行きますので、北条氏照および家臣団墓の参道部及び御主殿跡南側斜面改修箇所について視察を行いたいと思います。

## その他

相原会長 その他について、事務局の方から何かありますか。

土井主任 お手元に配布いたしましたジョイマップについてお話をさせていただきます。この度、横浜開港 150 周年記念事業に関連し、1 週間程赤レンガ倉庫において絹の道に関する展示を行いました。その際、八王子市・町田市・相模原市でお手元にありますジョイマップを作成いたしまして、NHK で取り上げられました。これを契機に、絹の道資料館の展示についても替えて行きたいと思っております。

相原会長 横浜開港 150 周年記念に関連しジョイマップを作成されたということで、横浜・八王子は、明治期において東京よりも近かった、というよりは縁が深かったということを再確認する意味においても良い資料になるのではないのでしょうか。土井さんありがとうございました。

それでは、これから八王子城跡に行き現地視察を行いたいと思います。なお、現地視察終了後、平成 21 年度第 1 回文化財保護審議회를閉会させていただきます。